受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(тш)		1 /	火27十尺于1	カヂ木叶叫ノ	1.			半 八	24 年	6月	20 日	作队		
事務事業	■サービス部門 ロホー援 数 即 教育-12 学校施設管理事業													
No./名 称	口支援部門 2000年100日 2000年100日 2000年10日 2000													
主管課	学校施設	:課		関連課	(生涯学	習課)								
分野名	学校教育													
目標 (目標値)	市立の小学校16校・中学校9校の適正な管理運営及び維持管理を行います。													
人口等の	データ区分		23年度		22年度			21年度			備る	5		
データ	<u> </u>		77.204人		· 2年及 77.161人			176.669人		·各年4月1日		ד		
, ,	世帯数		, <u>7,204八</u> ,217世帯	78,812世帯			78,131世帯			(住民基本台帳)				
	事業の対象者数		1.301人		1.144人		10.943人			(住民基本日報)				
運営資源	決算値(千円)		.664千円		131.153千円			133.296千円						
状 況	(国・県)	, , , , , ,			101,100 11						- 23年度人件費			
	(負担金等)									8,427,745円/人				
	(一般財源)	108	,664千円	131	131,153千円			133,296千円			(22年度人件費) 8,519,656円/人			
	人員配置数		0.5人		0.7人			0.7人						
	人件費(千円)	4,:	214千円	5,9	5,964千円			6,078千円			(21年度人件費)			
	協働の										8,683,109円/人			
	パートナー													
事務事業	総事業費(千円)	,		137,117千円			139,374千円							
運営経費			637円		774円		789円							
	りの経費(円) 対象者1人			+						-				
	対象名 1人	9	,988円	12	12,304円			12,736円						
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体														
や民間団体と														
の比較値)														
指 標		評価	年度	21年度	22年	22年度		23年度	24年度		最終年	度(年度)		
			目標値											
◎目標を達成 〇目標 △横ばい ×後退	漂に向かって前進		実績値											
評価のポイント		-				-								
	①効率性	古光串人	ル弗に割ばる 1	h (+ + > 1 > 4 >		(1) TO 11 II	# <u>=</u>	事業の目的と政策	策•施策体系	系の目標の	とが整合して	いるか。法的		
== /= o+= +	① 幼辛性	事素質や人	(件費に削減余量	世はないか。		②妥当性		な根拠や公的関						

事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。 ③有効性 中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点

「ナスーロのいるの」ナスの日間へ	四カリナ ハマド	, T 10.20									
小事業名	H23決算値	評価	適切=〇、要	要改善=△(評(面の視点を参照)	⇒	方向性		€•拡大 B:∃ 含縮小 E:廃):改善・見直し
	108,664千円	①効率性 〇	②妥当性 (③有効性	〇 ④公平性 〇	⇒	□A	■В	□c	□D	□E
学校施設管理事業	事業の概要	学校用地	•仮設校舎賃(借、建物共済	保険及び学校警(備等施	設管理に	関する事	務。		
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□А	□В	□С	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□А	□В	□С	□D	□E
	事業の概要										

④公平性

事務事業の課題及び取組状況

于切于不可称应从	TO TANK DOOD
H23年度の課題	平成22年度に実施した事業仕分けの結果を受けて、学校警備又は施設管理に係る実施体制について見直す必要があった。
課題解決のための取組	小学校警備員に代わる新たな事業の担い手を検討するにあたり、地域住民又は保護者等による実施体制の可否について検証するため、自治会連合会及び鎌倉市PTA連絡協議会(以下「市P連」という。)に参加協力を求めた。また、平成22年度まで配置していた中学校施設管理員は廃止した。
未解決の課題	学校警備に関して、地域住民又は保護者等の参加協力を得るに至らず、検証作業を行うことはできなかった。 小学校警備員の継続配置、また、廃止した中学校施設管理員の再配置を求める要望が保護者及び市P連から多く寄せられている。

中事業の評価と今後の方向性

<u>-</u>	適切=○ 要改善=△ (評価の視点 を参照)	①効率性	0	今後の 方向性	A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直LD:統合縮小 E:	※□事業完了		
		②妥当性	0		小学校警備については、当面、現行の事業手法(民間 警備会社への委託)を継続する。 中学校施設管理員については、従前の契約内容等を 見直し、学校管理運営に支陸をきたさない最低限の範	1	課長等名	
		③有効性	0			В	学 校 施 設 課 長	
	7	④公平性	0		囲に限り、再び配置する。		中里一男	

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値		個別事業の評価結果
学校施設 管理事業	主な個別事業	1121 1121 1121 1121 1121 1121 1121 1266 1266	壁掛け扇風機等消耗品費 放射性物質濃度測定業務手数料 建物共済保険料 学校施設管理業務委託 学校施設機械警備業務委託 警備機器移設·再設置業務委託 大船中学校用地等賃借 小学校警備業務委託 御成小学校仮設校舎賃借	45 0 2,510 12,755 5,156 450 46,996 37,769 5,103	4,701 615 1,868 12,755 5,156 300 40,842 37,318	■適切 ■適切 ■適切	□見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり □見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					口適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業					□適切	□見直し余地あり